

# 支援部だより

宮城県立小松島支援学校  
第2号 令和元年9月発行

## 学校見学会が行われました。

今年度は5月31日（金）から7月9日（火）まで、5回の学校見学会を行いました。地域の方々や関係機関（放課後デイ等）、幼稚園や保育所、小中学校の先生方や保護者、児童生徒の皆さん、合計250名を越える多くの方々に来校していただきました。

学校見学会では、本校の施設設備や児童生徒の授業の様子を見学していただきました。全体会①では鳩原校長の挨拶や職員紹介があり、校内見学の後、全体会②で本校の概要をスライドで紹介しました。

来校された方々からは、「自然が多く、とても良い環境に感じた」「きめ細かい指導が見られました」「メリットばかりでなく、支援学校の課題についても話が聞けて良かった」「穏やかな雰囲気先生や子供たちの表情が柔らかく、安心した」などの感想が寄せられました。

学校見学会は、特別支援教育の理解・啓発の場となり、また、小松島支援学校の教育を知っていただくよい機会となりました。今後も地域に開かれた学校づくりに努めていきます。



## 専門性向上研修会が行われました。

◇テーマ「発達に遅れのある子どもの思春期における支援の実際」

講師 宮城県総合教育センター相談支援班 指導主事 石垣 綾 先生



8月22日（木）に、宮城県総合教育センター相談支援班指導主事の石垣綾先生の講演が行われました。

思春期の指導の中の「性」に関する支援についてお話いただき、「性に関する指導」の基本的な考え方や留意点など、具体例を交えてわかりやすく説明していただきました。人は生活年齢や環境に応じて性的な興味関心を抱くもの、前向きな発達課題と捉え適切な資料や文献から科学的根拠をもとに指導することなど、支援する側の心構えや支援の仕方をお話いただきました。生命尊重や望ましい人間関係を築いていく為にも「性に関する指導」の重要性が分かる内容でした。

今回いただいたお話を、これからの子供たちへの支援につなげていきたいと思えます。なお、今後も研修会を開催し、特別支援教育に関する知識や理解を深め、専門性の向上に努めていきます。

〈今後の研修会の予定〉地域支援研修会

10月11日（金） 14:00～15:30

講師 仙台市第二自閉症児者相談センターなないろ  
センター長 門田優子 氏  
「自閉症の特性に応じた支援について」

保護者、地域の学校の先生方も対象の研修会で、8月に御案内を配付しております。参加受付は締め切りでしたが、希望される方はコーディネーターまで御相談ください。